

# 教育委員会だより

## 町史編さんをたどる 町史史料紹介



②植樹の光景、当時と今の花沢館跡は少し違いますね



①能登屋笹浪家第9代当主後見人／笹浪久之照



町史編さん事業で、現在整理している能登屋笹浪家の分家筋にあたるヤマコ笹浪家所蔵の資料から、明治時代に遡る写真が見つかりましたので、皆さんにご紹介します。

①は、明治19年7月1日に能登屋笹浪家第9代後見人（本当の当主が、幼かったりした場合に代理で家を取り仕切る人）の笹浪久之照さんを撮った写真です。当時としては、ハイカラ（お洒落）な帽子をかぶり、威厳のある風格で撮影にのぞまれています。

明治時代の写真は、現在の貨幣価値に換算すると1枚8〜9万円くらいかかる大変高価なもので、1回撮影するのにずっと静止してなければならぬものでした。そういった事情から笹浪家が非常に裕福な家系であったことが推察できます。

②は、昭和天皇陛下より下賜された苗を現在の花沢館跡に昭和37年5月7日に植樹した際の記念写真です。

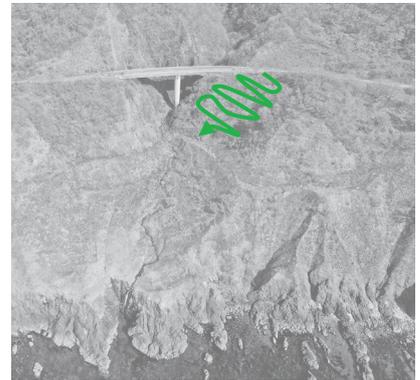
写真中央は、当時の沢村村長で、沢村村長の左斜め後ろにいる方が、故笹浪兵輔（ヤマコ笹浪家）さんです。村長はじめ町の名士や有志が植樹を率先して行ったようです。皆さんの自宅に眠っている資料やお話があれば、文化財グループまでお問合せください。



⑤矢印が旧幕府軍の進出路、四角は松前藩陣地



④地名の大滝、海側から見るとまさに大滝！



③矢印が、旧道の十三曲

③は、大滝の古戦場に向かう旧道の通称：十三曲（じゅうさんまがり）です。なぜ十三曲と言われたかという点、何度も、何度も曲がって歩かなければいけず、十三回曲がるから十三曲と名付けられたのです。

明治元年の松前の戦いで、敗走を余儀なくされた松前藩は、旧幕府軍の侵攻を食い止め、反撃に出るため、大滝に陣を構えます。

松前藩は、大滝（写真④）に至る十三曲を進軍してくるであろう旧幕府軍が手間取っている間に、倒してしまおうと考えます。

しかし戦いになれていた旧幕府軍は、敵の襲撃を予測し、星惇太郎の額兵隊に急で高い山を登らせ、松前藩兵陣地の裏側から奇襲攻撃をかけさせます（写真⑤）。

まさかそのような所から攻撃されるとは考えていなかった松前藩兵は大混乱に陥り、隊長の氏家丹宮は戦死し、藩兵も旧幕府軍の猛攻に我先にと江差まで退却することとなります。

現在は、十三曲の面影が見えるのみですが、かつてここで大きな戦いがあったとは思えないほど穏やかな場所となっています。

問い合わせ先：0139-55-2230（文化財グループまで）

